

テーマ：観光（実践校）

オホーツク管内 網走市立呼人中学校

■本実践のポイント（概要）

- ・生徒にふるさとへの愛着や誇りを育むため、呼人地域の観光資源である美しい自然等を学び、地域の自然について理解を深めるとともに、「ふるさと呼人」のよさを多くの人に伝える活動を通して、地域の教育資源を生かした観光づくりについて探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

呼人地域の観光資源の中から、網走湖に関する内容を中心に学習しました。生徒の興味や関心から一番伝えたいテーマを絞り、「豊かな環境の網走湖を多くの人に伝えよう」という課題を設定しました。

(2) 情報の収集

体験観光施設コネクトリップのガイドリーダーによる呼人の自然についての講話、カヤックでの網走湖散策、呼人半島での自然観察等の体験的な活動を通して、情報を収集しました。

(3) 整理・分析

カヤック体験や講話で学んだこと他、インターネットを活用した調べ学習により得た情報を整理し、分析したことをクイズ形式にまとめることを通して理解を深めました。

(4) まとめ・表現

鳥・魚・しじみ・網走湖の成り立ち等、学んだことをスライドにまとめ、他の人に伝わりやすい表現を工夫したことで内容が整理され理解が深まりました。発表したスライドは学校のWebページに公開し、より多くの人にふるさと呼人地域の素晴らしさを伝えました。

②生徒の感想等

- ・これまで知らなかった自然や動物に出会い、自分の住んでいる呼人が今まで以上に好きになり、他の地域の人に伝えたいとなりました。
- ・カヤックで行った呼人半島の探鳥遊歩道では、今まで見たことのない植物を数多く見ることができ、もっと調べたいと思いました。
- ・授業で調べたこと他にも自分で調べられることはたくさんあることを知ったので、これからも呼人のことを調べ続けたいです。
- ・ガイドさんから多くのことを教えていただき勉強になりました。人との関わりを大切にして、様々な情報を集め、その情報をたくさんの人に伝えたいと思いました。



【講話の様子】



【カヤック体験の様子】



【生徒の発表の様子】

■取組の成果（○）と課題（●）

- 体験的な学習を位置付けながら探究的な学習を行ったことにより、観光に関するアンケートで「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が20%から60%に、「北海道や自分たちの住んでいる地域に、誇りや愛情をもっている」と回答した生徒の割合が40%から100%に増加するなど、自分たちの住んでいる地域について興味・関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着と誇りを育むことができました。
- 網走市教育委員会と連携して地域の教育資源（施設・人材）を活用した教育活動を推進したことにより、各活動の充実が図られ、地域連携と社会に開かれた教育課程の実現につながりました。
- 生徒が、より一層地域の観光や自然、文化等に興味・関心をもち、主体的に活動できるよう、生徒の探究意欲を喚起する地域の教育資源を活用した学習過程の更なる充実を図る必要があります。